

備前市事務事業評価表

事務事業名	水産基盤整備事業	コード	担当課係	日生総合支所産業課水産係
		04-01-03-01	担当者	濱山一泰
事業実施期間	昭和56年度～		電話	0869-72-1254
総合計画 事業（政策）体系	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目	豊かな食を支えるまちづくり		
	小項目	水産業		
	施策	漁場環境の回復・改善		

事業について	
目的	現在の漁場環境では、今後、大幅な漁獲高の伸びはきたいできないため、人工魚礁や消波施設等の設置により有用魚介類の増殖や漁場の整備が必要で、特に、稚魚の生息場所として、また、海洋環境の保全に重要なアマモ場や干潟の造成を行う。
対象 (誰のために)	地元漁業協同組合等
内容	上記目的達成にむけた補助金の交付 県事業に対する負担金

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など	(単位)	回数など	(単位)
補助金交付申請件数	2	件		
協議・相談	100	回		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	41,439	国庫補助金等	5,225	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	5,480	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	46,919	市債	31,300	合計	0	市債	0

必要人員	0.65	人		人
結果指標①	結果指標名	補助金交付申請件数		
	結果指標量	2		
	単位	件		
	対前年比	—	0.00%	
	事業費	7,400,000	円	円
	単当たりコスト①	3,700,000	円	円
結果指標②	結果指標名	協議・相談		
	結果指標量	100		
	単位	回		
	対前年比	—	0.00%	
	事業費	2,500,000	円	円
	単当たりコスト②	25,000	円	円

事業の成果			
成果指標名	漁獲高	式又は説明	漁獲物の商品価値の向上と漁家経営の安定
成果指標量	17年度		
	654		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	700トン	到達目標年度	毎年

(平成17年度事業)

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 漁業振興特別対策事業実施要領等
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

課題認識
日生海域では、近年、藻場の衰退が要因で水産資源の減少が著しいためその回復・増大が求められており、藻場の再生や稚稚仔保育場、成魚生息場等の整備により漁獲量の増産が見込まれる。

県等と協議しながら水産基盤整備事業を計画的に行い、漁業の振興と漁村地域の活性化を図る必要がある。

本市水産業の生産性を向上させ、より効率的、安定的な漁業経営が可能となる施設を整備する。

総合評価	
コメント	漁業生産の基盤である沿岸漁業の整備開発を図るため、藻場・干潟の造成及び魚礁の設置等を行い、漁場の生産力の増進と漁業経営の安定を図る。
評価区分	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	2件	結果指標量②	100回
目標値	結果指標量	700ト	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標とある成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。